



NON-SMOKING企業を目指して

NON-SMOKING企業を目指す3つの理由

①お客様への配慮

タバコを吸わないお客様にとって、タバコを吸う人のタバコの匂いは、結構気になるし嫌なものなのです。お客様の側で心地よいサービスを提供するためには、私たちはタバコを吸うべきではないと考えます。

②作業効率低下を防ぐ

喫煙者は血液中のニコチン含有量の減少により集中力を持続することができなくなります。

これは中毒症状という病的な原因によるものであり、結果的にはパートナー（従業員）の潜在能力を低下させてしまうため、作業効率低下を防ぎたいからです。

③職場環境

喫煙習慣のある人にだけがなぜ優遇させているのだろうか。喫煙の場所を設置し、より頻繁に休憩が認められるということは、禁煙習慣のない社員からすれば完全に不公平です。

実際に自分自身も喫煙者だったので、喫煙者からはこの不公平感が分からないのです。たとえるならば、アルコール中毒の社員を雇用し「なぜニコチン中毒の社員だけ優遇するのか」とアルコール中毒社員が言ってきたら、会社にアルコール中毒者用のバーを設置するのでしょうか。ニコチンが切れて集中できないという状況は、アルコールが切れて手が震えるという状況と差はないと考えられます。

当社はパートナー（従業員）全員が喫煙習慣のない“NON-SMOKING企業”を目指しています。

なぜならば身体に悪いと知っていながらも禁煙できない人は自分自身をコントロールしマネジメントできない証拠。こういう人は部下の育成やお客様を第一と考えられない。当社ではこのような人はパートナー（従業員）として一緒に働けないと考えるからです。

民部木材のロゴマークについて

